



# 結Stage

令和4年度歴史的建造物を活用した誘客促進事業

【撮影場所】男神社 旧吉村(寺西)家住宅 信達神社 山田家住宅 林昌寺 rojica

【協力】桂紋四郎 菅野洋子 周藤隆征 寺倉礼那 寺西興一 中川さとし  
仲地千晃 中野ドニア誉子 本山圭子 山田彰吾 山田享(敬称略)

【写真】野口英一【取材・文】中山くる美【デザイン】尾原葉香

【企画支援】大阪府登録文化財所有者の会【企画】泉南市教育委員会【発行】2023年3月

# 結Stage

表現活動の場としての歴史的建造物活用推進事業

発表の場を求めるパフォーマーの創作活動をサポート!

歴史的建造物や登録有形文化財を使った6つの事例をご紹介します





場所と人、過去と未来、つながる舞台

# 結Stage ゆうすてーじ

登録文化財×表現者=結んで広がる、未知なる明日

YOU…あなたのステージ

それはとても近くにあるかもしれません

気になるあの場所

歴史ある建築物、心惹かれる空気感

街には、ちょっと見てみたい

一度訪れてみたいところがあったりします

それはもしかしたら、「登録文化財」かもしれません

何だか近寄りたいたいけれど、のぞいてみたら

とっても親しみやすかったり、心なごむ空間だったり

そんな「登録文化財」が大阪府には約800カ所

シンパシーを感じる魅力あるところで

踊ったり、歌ったり、話したり、学んだり

場所と人、過去と未来が

不思議な化学反応を起こして

可能性を大きく広げてくれるかもしれません

発表の場を探す表現者と

その価値を知ってほしい登録文化財の

コラボレーションによって

新しい発見、未知なる才能が生まれる予感がします

結Stage(ゆうすてーじ)…あなたの舞台は

とても身近なところにあるかもしれません

「登録文化財」とは

歴史、芸術、学術分野において高い価値が認められた建築物、記念物、生活文化施設など、一定の評価を得たものが文化財として登録されます。有形無形を問わず、届出制という緩やかな規制を通じ、保存と活用が促されています。上記では、一般的な歴史的建築物も含めて「登録文化財」と記しました。予め、ご了承ください。

明日を拓く、素敵なステージとの出会いをお手伝い

## 歴史的建造物、文化財を活用するための心得ノート

登録文化財をはじめとする歴史的建造物でのパフォーマンス、展示、ワークショップetc.をやってみようと思ったら、まずは「大阪府登録文化財所有者の会」までご連絡ください。理想の場所を一緒に探したり、所有者等の方々と繋いだり、守るべきマナーをレクチャーしたり、登録文化財の所有者と表現者との心地よい関係づくりの支援をいたします。



### ① ご連絡方法はメールで

お問い合わせは「大阪府登録文化財所有者の会」にメールでご連絡ください。ご希望の施設を提案したり、所有者等にコンタクトをとったり、さまざまなご相談に応じます。



### ② 所有者等のOKが出たら、現地をロケハン

所有者等の了承を得ることができたら現地を訪れます。どんな設備があるのか、使用エリア、立入禁止・写真不可の場所、トイレの有無、安全性、使用費用など、詳細を確認します。



### ③ パフォーマンスの準備は自分たちで

登録文化財は、設備の整ったレンタル会場とは異なります。パフォーマンスに必要な音響や照明、椅子、受付など、安全確認を含めて、自分たちで責任を持って準備を整えます。



### ④ 開催当日の観客誘導やあとかたづけ

当日を迎えたら、会場設営や観客誘導を丁寧に確認。パフォーマンス終了後はお客さまを安全に送り出し、あとかたづけや掃除、所有者の方へのご挨拶も忘れずに。

## 【問合せ】大阪府登録文化財所有者の会事務局

大阪府大阪市阿倍野区阪南町1-50-25(寺西興一 宅)

E-mail : info@osaka-tobunkai.org

文化財情報を収集できるサイト ●大阪文化財ナビ

https://osaka-bunkazainavi.org





国登録有形文化財

## 広い敷地に江戸時代の庄屋屋敷 登録文化財として活用しながら保存すること18年

所有者 山田 享

代々受け継いできた庄屋屋敷を、これからも“遺したい”という父の強い思いから、さらに修理を重ねて守ってきた山田家住宅。登録有形文化財に登録していただいたからは活動しながら保存するというコンセプトのもと、地域の有志の方々が保存会を立ち上げていただきました。毎月第4日曜日を公開日とし、展覧会や発表会などのイベントを開催。山野草の展覧会やハワイアンコンサート、書道展など、恒例になっている催しも数多くあります。今回のような小さなお子さんのイベントは初めてですが、カラフルな衣装と伝統的な日本家屋のミスマッチがとてかわいらしく、日本家屋でのお行儀や立ち振る舞いを学ぶきっかけになったらうれしいですね。



## 子どもたちが、知り、学び、理解する 貴重な文化財でのパフォーマンス体験

子どもたちは、イベントや発表会でダンスを披露することはあっても文化財でのパフォーマンスは初めて。伝統的な日本家屋ならではの特徴を知り、建物に敬意を払うことを学ぶとてもよい機会に恵まれたと思います。いつものレッスンは子どもから大人まで、バレエを中心にコンテンポラリーダンスやミュージカルなど、自由な雰囲気です。私自身もさまざまな場所でピアニストや書家の方とコラボレーションして即興で演じたり…時には制約のあることも多いのですが、だからこそおもしろい表現が生まれたりします。来年からはミュージカルクラスを開講し、ファンタジーを扱ったオリジナル作品を創ってみたいと考えています。



## 本山 圭子 (ダンス・ミュージカル教室主宰)

Profile:6歳からバレエを始め、大学卒業後の2006年～2010年、劇団四季在団。その後N.Y.に留学してモダンダンスを学ぶ。結婚を機に和歌山に移住し、子どもから大人まで楽しく学べるダンス教室「Musical Studio LOOSE」を主宰、2023年からはミュージカルクラスも開講予定。ヨガ、ピラティスなどの資格を有し、日々「カタチ」に囚われない感覚に根付いた表現を探究している。





江戸時代の暮らしを知り、伝統を感じる  
17世紀から続く豪農の庄屋屋敷にポップなキッズがタイムスリップ!





## 緑豊かな庭のイメージに合わせて 衣装を選び、ヘアメイクを施す高揚感

重森三玲作のお庭でモデル撮影会をするというお話をいただき、「おもしろそう」と思ってお引き受けすることに。モデルとしてお声かけした方も快く応じてくださり、素敵なロケーションでの撮影会は心躍る経験になるという直感がありました。春には美しいツツジの花を愛でることができるというお庭ですが、緑豊かなシーズンに合わせて着物選びやヘアメイクを準備。実際に訪れた林昌寺はとても厳かな雰囲気、ワクワクしながらヘアメイクや着付けを楽しみました。モデルさんや子どもたちの表情も明るく、カメラウーマンの方も意欲的に撮ってくださり素敵な撮影会になったと思います。



仲地 千晃 (ヘアメイクアーティスト)

Profile:ヘアメイクはもちろん、着付けもできる『Hair&Make CHEER』を大阪市内で経営。ブライダルをはじめ、成人式、七五三など「一生に一度のお手伝い」に携わることをコンセプトにヘアメイクアーティストとして活動。さらには「キレイになりたい女の子をずっと応援したい」という想いから「一生に一度」はもちろん「ちょっと特別な日」にも“輝く笑顔”のためのお手伝いをしている。

## やすらぎを求めて、人が集い語らう 信仰の場で、鑑賞の庭を守り続けて

林昌寺 住職 周藤 隆征

躑躅山林昌寺は、天平間に開かれた泉南の古刹として知られ、造園家の鬼才・重森三玲による「法林の庭」は1961年、私の祖父の発案で作庭されました。信仰の場としてご参拝いただくのはもちろん、気軽に庭を覗いて来ていただきたいという祖父の想いを受け継ぎ守り続けております。

1月の成人の日には「紫燈大護摩供(さいとうおごまぐ)」が行われ、多くの方々にもご参加いただいております。今回はお庭での写真撮影会ということでしたが、海まで見渡せる山からの眺めは絶好のビューポイントですし、人里離れた地ですから音楽イベントなど、さまざまな生かし方をさせていただきたいと思います。



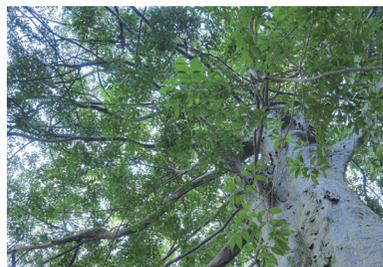
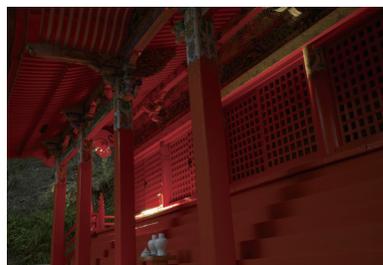


アーティスティックな庭園表現に調和させる  
表現者ならではの感性とバランス  
そのステージは重森三玲作庭の「法林の庭」



## 漢字の源流、象形絵文字に魅せられ ルーツを尊ぶ姿勢を「書」に託す

漢字のルーツであり、3,300年以上前に生まれた古代象形絵文字と出会い、そのエネルギーに惹かれたことが書家の活動を続ける源です。これまで文化財や社寺での活動経験はありましたが、信達神社は初めての訪問。本殿前の神々しい雰囲気の中、「福」「信」を奉納揮毫いたしました。神と人の交信を目的に文字が生まれ、神事にまつわる文字が多く存在します。そして、言霊を大切にしてきた歴史があります。「福」という文字は祭壇にお酒をお供えし、豊作を祝う様子であり神社でよく見られる形です。「書」を通して先人からの恩恵を感じ、みなさんが福々しい笑顔になるような活動をしていきたいです。

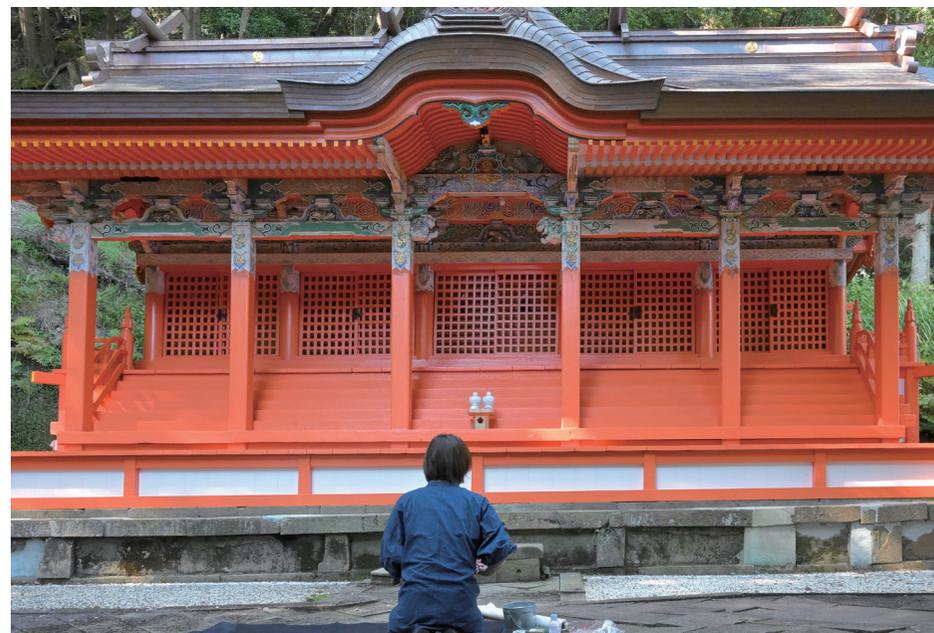


信仰の地、秘境の雰囲気を守りつつ  
交流の場として活性化していければ…

信達神社 宮司 山田 彰吾



樽井の海岸に神武天皇の像が漂着、里人が引き上げ、樽井の地に祀ったのを起源とする信達神社。秋のお祭りや金熊寺梅林のシーズンには人の賑わいがありますが、いつもは静かで幽玄な山里です。過疎化の進む地域ですが、今までは特にアナウンスすることもなく、これといったイベントを催すことはありませんでした。今回のように「書」の奉納や絵画、音楽など、信仰の地にふさわしい企画は大歓迎。信達神社では縁起のいい大阪府天然記念物の「ナギ」と「オガタマ」の大木のエネルギーを感じることもできます。こんな秘境の雰囲気を守りながらも活性化に寄与できたらいいですね。



### 中川 麻希子(古代文字書家)

Profile:鳥取県出身、京都で修行し、現在は独自の作風を築くために西宮市北部で創作活動を行う。幼いころから書に親しみ、19歳で師範免許を取得。自身の作品制作に加えて、子どもたちを対象にしたワークショップ、店舗ロゴ、命名書など、さまざまな活動に取り組む。主に「漢字」のもとになった古代象形絵文字からインスピレーションを得て、精魂込めて書に向き合っている。

深遠なる森に極彩色の本殿  
しなやかに、力強く流れる筆の動きが  
神々の宿る神祕の宮に共鳴する





大阪府指定有形文化財・国登録有形文化財

## 神さまへの“感謝の気持ち”を持って 有効に活用していただきたいですね

男神社 宮司 菅野 洋子



負傷した彦五瀬命がこの地に着いた紀元前3年5月8日を創始とする男神社。今回は創作ダンスの奉納ということでとても意外に思っておりましたが、実際に舞踊を見せていただきますと、まるで紀元前3年に戻って神が舞い降りてきたかのように幻想的で感動いたしました。境内には大阪府指定文化財、国登録文化財などの建造物、「夫婦樟」や「むくろじの木」などの神木もあり、5月にはヒメボタルが飛び交う豊かな自然にも恵まれております。私も地元の方々も歴史ある神社を誇りに感じていますので、神さまへの“感謝の気持ち”を持って有効に活用していただくことを願っております。

## 美しい木漏れ日、神聖な空気感 無の境地に至り過去・現在・未来を表現

初めて訪れた男神社は木漏れ日がとても美しく、神聖な空気に包まれていました。古の刻が流れる神社にふさわしく人間の域を超えた天女のイメージで過去・現在・未来を表現したいと衣装もそんなイメージに…。パフォーマンスの前に玉串奉納をさせていただいたことでスッと無の境地に至ることができ、インスピレーションに任せて舞うことができました。こうした社寺や文化財での貴重な経験は自身の幅を大きく広げてくれると感じられます。舞踊家、振付家としてさまざまな活動をさせていただいていますが、日本でもバレエやコンテンポラリーダンスを映画鑑賞のように気軽な文化として浸透させていくことを目標にしています。



### 寺倉 礼那 (舞踏家)

Profile:松岡怜子バレエ団で3歳よりバレエを始める。大阪芸術大学芸術研究科博士課程前期芸術制作専攻(舞台)卒業、現在は同大学院芸術制作専攻舞台領域非常勤副手。ダンサーによるダンサーの為のトータルサポート事業「FOR DANCER'S LIFE」にてエグゼクティブディレクターを務める。コンテンポラリーの舞台を中心に、ダンサー、振付家、モデルとして活動している。







## 工夫しだいで多様な使い方ができる イマジネーションを刺激する空間

幼少期からバレエやダンスを続けてきましたが、ある時、ベリーダンスを観て“絶対にやらなければ”という想いから本場イスタンブールに渡りセマイルデイス先生に師事しました。現在は大阪、神戸、徳島など、西日本を中心にダンス教室を主催。また、舞台、ホテルのデイナーショー、企業パーティーなど、さまざまな場所でダンスを披露。同時に、舞台芸術も学んでいるので、振付、舞台監督などにも力を注いでいます。rojicaさんは初めて訪れましたが、ノスタルジックな煉瓦造りで天井も高く、工夫しだいで多様な演出が可能なイマジネーションを刺激される空間ですね。照明や音響、ピアノや食事とのハーモニーなど、考えるだけでワクワクしてきます。



## 大正時代の趣ある建物に共鳴する アート、音楽を中心とした 多目的スペースに

店長 中川 さとし

紡績産業で栄えた街に残る煉瓦造りの工場跡をリノベーションしたrojicaは2008年にオープン。現在は多目的スペースとして「カフェ」「イベント」「雑貨販売」をベースに運営。音楽、文化、芸術、教育、福祉などのイベント開催にもご利用いただいております。

歴史的建造物を維持していこうという責任を感じるとともに、人が集まる場所として、地域の活性化に貢献していきたいと考えています。これからもご一緒していただける方々とともに、この建物を起点にしたさまざまな活動を展開していきたいですね。



## 中野ドニア蓉子 (ダンサー)

Profile:オリエンタルダンサー、振付家、舞台芸術監督。クラシカルバレエを5歳にはじめてから、さまざまなダンスや音楽とともに成長し、民族楽器の演奏から日本古来の舞“傀儡舞”までこなす。「ラクスボリマ☆ベリーダンススクール」校長として舞台の総合芸術を担い、阪神間、西日本を中心に、指導、振付、構成、演出など、ダンサーの育成に務める。オリエンタルダンスに軸足を置きながら国境を超えて活動している。



栄華を偲ぶ赤煉瓦の紡績工場  
その空気を纏い、しなやかに舞う  
ノスタルジーとエキゾチズムの融合



# 旧吉村(寺西)家住宅



国登録有形文化財

## 江戸時代の情緒を守りつつ 人が集い語らう場所となるように

所有者 寺西 興一

旧吉村(寺西)家住宅は江戸時代、和泉屋・泉久の屋号で油問屋や両替商を行っていた商家でした。つし2階を持つ主屋に2棟の蔵のある、当時の繁栄を物語る立派な木造建築です。それが約5年前、売りに出され、このままでは取り壊されてしまうと、思い切って取得することを決めました。現在はリノベーションを進めながら、家族がエステサロンをしたり、ご近所の方々に「つむぎ市」というイベントを行ったりしています。将来は飲食店や民泊をされるような方にお貸しできればと考えていますが、今回のような落語会や講演会、教室など、オールマイティにご利用いただきたいですね。



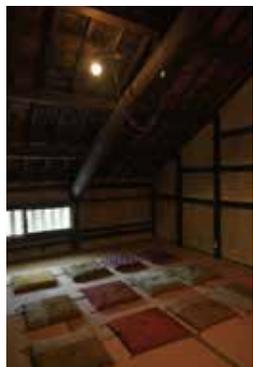
## 座布団の上なら全国津々浦々 歴史ある場所は落語の世界に没入できる

上方の噺家ですが東京在住。座布団があれば全国津々浦々、どこにでも赴きます。寺社での高座はありましたが、今回のような文化財は初めてなので楽しみにしていました。歴史ある建物や蔵など、想像の力を借りられる場所なら落語のネタに入りやすいと思いますし、聴き手もイメージしやすいのではないのでしょうか。落語は三密をつくると世界観を表現しやすいので、この2階での高座はとてもやりやすいです。演目はその場所やお客さまの雰囲気を見て決めます。今回も初めて経験する環境でしたが、これからも屋形船で落語をするなど、新しいことにチャレンジしていきたいですね。なにせ「日本一のエンターテイナー」になるのが目標ですから(笑)。



### 桂 紋四郎(落語家)

Profile: 上方落語家。1988年、大阪府吹田市生まれ。大阪大学大学院工学研究科に在学中の2010年、三代目桂春蝶の落語に出会い、大学院を中退し入門。講談×浪曲×落語×文楽×能楽×茶道×華道の上方伝統文化発信集団「霜乃会」のメンバー。オンラインと生の体験を融合することで、落語の楽しみを全国へ。また落語という枠にとらわれないエンターテイナーとして活躍している。





古典落語を貝塚の商家で  
噺家の流暢な語りに聴き入った  
その瞬間、うつつの如く時が遡る

